

淡路島通ふ千鳥の鳴く  
軽く止める  
軽く止まる在り

声にいく夜寝覚めぬ

須磨の関守

中一五三

淡路島から飛び通う千鳥の鳴く声に、いったいいく夜を  
覚ましたことだろう、須磨の関守は。  
(百人一首 七八番 源兼昌)